

お知らせ
買い物支援バス
 運行中。詳しくは同時
 配布のチラシで

岩 沢 通 信

第54号
 2018年(平成30年)5月25日創刊
 発行 岩沢アチコタネーゼ
 岩沢地域振興協議会・岩沢分館
 編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

令和5年度 岩沢地区町内会長名簿 (敬称略)

町 名	氏 名
桂	佐藤 和俊
山 谷	高橋 昌弘
市ノ口	佐藤 剛
岩 山	関口 晃
大 崩	小野塚 久

4月5日(水)新年度を迎えた中で、岩沢を支える会の令和5年度の初会合が開催された。
 参加者自己紹介の後、議事では、令和4年度の事業報告と事業予定が提案され、その中で特に昨年度は南小学校の開校10周年記念事業が大きな出来事であったと報告された。また今年度も岩沢を支える会として2ヶ月に1回のペースで定期的に会議を持ち、情報共有を行うことが佐藤協議会長から提案され承認された。
 佐藤会長からは他に追加報告として、先日市役所に行ったときに防災安全課の課長から呼び止められ「桂の旧渡辺工務所の危険に関しては我々も十分承知しているが、現状では個人宅なのでいかにともすがたい。住民の皆さんにはくれぐれも近づかないようにしてもらいたい」と話があったとのことである。

令和5年度 岩沢地区町内会長協議会役員(一部予定)
 会 長 佐藤 和俊 副会長 関口 晃
 会 計 高橋 昌弘 会計監査 佐藤 剛
 振興会理事 高橋 昌弘 小野塚 久
 佐藤 和俊
 コミバス運営委員会監事
 佐藤協議会長兼務 敬称略

岩沢を支える会、防犯組合活動報告開催

岩沢福祉会「福祉のつどい・福祉講座」を開催



岩沢福祉会は今年度の取り組みとして、初めての「福祉のつどい・福祉講座」を住民センターにて行った。

福祉のつどいとは高齢者の世帯や介護者、子育て中の親子、障害者等を対象として、親睦交流を行い、閉じこもり防止などを目的に行う昼食会やイベントである。

この日はデイホームの参加に合わせ、普段の食事と違って、普段の食事を味わってもらうため、真人のデイホームのお世話係の協力を得て、ちらし寿司とデザートにパエリアを用意。また、その方を講師として、福祉健康講座も開催。最初にDVDを鑑賞し、その後、講師から大切な生活に必要な

養素について、食事の量よりもその内容が大切であると



人物紹介 (14)



小千谷市立 岩沢保育園
 園長 岡元 淑子

自然豊かな岩沢保育園に4月から移動となりました。前任はわかば保育園に4年間勤務しておりました。実は、10年前も保育士として3年間勤務しておりました。新年度はまず、年長さんを中心にグラウンドの雪かきから始まるイメージでしたが、今年の春は雪どけが早く驚いております。今年も大切なお子さんをお預かりし、子ども一人一人が心豊かに成長できるように見守っていきたいと思います。また、地域に愛される保育園として職員と力を合わせて保育してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

デイホームに参加しませんか
 現在デイホームいわさわでは皆さんの参加をお待ちしています。65歳以上の介護の必要でない方なら誰でもご参加いただけます。月に1回男性の日もあります。お申込は住民センター(86-2002)まで。

- ・開催日 毎週月・水・木曜日
- ・時 間 午前10時～午後3時
- ・参加費 1回 500円(昼食代含む)
- ・その他 コミュニティバスにて自宅前まで送迎有

令和4年度 第46回 岩沢保育園卒園式



3月25日(土)例年より早い雪解けの中、第46回岩沢保育園卒園式が開催された。今年度の卒園式は新型コロナウイルスの感染が下がったことから園児や先生方はマスクの着用無しで参加。久しぶりにお互いの顔の見える式典となり、卒園児12名は皆元気に



く保育証書を受け取った。なお、2年間岩沢保育園の園長を務めた廣井園長は南保育園に移動となり最後の卒園式となった。



岩沢福祉社会監査&役員会

3月24日(金)令和4年度の岩沢福祉社会監査が諏訪部栄一会長の立会いの下、高橋清和・大淵好一両民生委員により行われた。収入は社会福祉協議会補助金や各種寄付金等を入れて371,884円、支出は買い物バスの燃料費や民生委員が高齢者見回りで配ったタオル等で191,546円となり令和5年度に180,338円の繰越となった。監査に合わせ、役員会を開催。令和5年度の事業計画も検討され、来年度も諏訪部鐵工所から寄付金の申し出と買い物バスの試験運行の継続や福祉講座の開催、民生委員による地域の声かけなどの事業を進めていくこととなった。



編集後記

令和5年度がスタートし私は引き続き岩沢を担当させていたくこととなりました。よろしくお願いたします。さて、先日この岩沢通信を書く時に少しでも役に立てばと思い、小千谷新聞の記者の主催するライター養成講座に参加してきました。参加者は4名と少ないのですが、少ないが故に濃密な時間となりました。その中で講師曰く「誰よりもライターになれます。それには好奇心を持って何でも書く。そして調べる／整理する／予測する」なかなか簡単そうではないことだ。私が一番驚きハッとしたのは「広報や新聞などに使う写真はカメラ目線の物はカット」という一言でした。なるほど、いつも親御さんに遠慮して子どもたちを脇から撮っていたのは正解だったのです。さてさて、今月号は岩沢保育園の卒園式を記事にし、そして来月は「にゅうえん、しんきゅうのつどい」を掲載する予定です。成果は出ていますでしょうか。……(I)